

◎特別寄稿

バンコク国立博物館企画展

「日本とタイの陶磁器交流―貿易と文化交流の永遠の伝説」展に寄せて

佐賀県立九州陶磁文化館 副館長

徳永貞紹

タイと日本の陶磁器を通じた交流



【図1】宋胡録「柿香合」
シーサッチャナーライ窯
東京国立博物館所蔵(岸野
浩平氏寄贈) 出典: ColBase
(https://colbase.nich.go.jp/collection_items/tnm/TG-3027)

※展覧会の出品作品ではありません

——タイ陶磁は中世後期から近世初期に貿易品の一部として日本にもたらされ、近世前期には日本陶磁がタイに輸出され、それぞれの生活・文化に受け入れられた——バンコク国立博物館において「日本とタイの陶磁器交流―貿易と文化交流の永遠の伝説」展(9月14日～12月14日)が開催されるにあたり、佐賀県立九州陶磁文化館副館長・徳永貞紹氏にご寄稿いただきました。

2022年9月14日から12月14日まで、シリキット王太后陛下の生誕90年を記念して、バンコク国立博物館で「日本とタイの陶磁器交流―貿易と文化交流の永遠の伝説」展が開催されます。展覧会を主催するタイ王国文化省芸術局と佐賀県は文化交流に関する覚書を交わしており、江戸時代に海外輸出された有田焼を中心に佐賀県立九州陶磁文化館から多くのコレクションを出品協力します。

タイと日本の陶磁器に技術的な直接の影響関係はありませんが、タイ陶磁は中世後期から近世初期に貿易品の一部として日本にもたらされ、近世前期には日本陶磁がタイに輸出され、それぞれの生活・文化に受け入れられました。



タイの陶磁器生産と日本での受容

タイの陶磁器が日本に請来されたのは、室町時代の14世紀終わり頃から江戸時代の17世紀初め頃まで。タイではスコータイ王朝の末期からアユタヤ王朝の時代です。数は決して多くないのですが、中国・東南アジアや日本本土との中継貿易で栄えた琉球(沖縄)や中世日本を代表する国際貿易港であった博多(福岡)をはじめ、堺(大阪)や豊後府内(大分)など各地の港湾・城館・都市遺跡からタイ産の陶磁器が発掘されています。

なかでも琉球国は、15～16世紀に中国と東南アジアの産物を仕入れて、中国産の陶磁器などを東南アジアに売り、逆に東南アジア産の胡椒、染料の蘇木、



【図2】 輸送コンテナとして使われた陶器の壺メナムノイ窯 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵(爲近美榮氏寄贈)
※展覧会の出品作品ではありません

香木などを中国に売るという中継貿易を行っていて、タイの暹羅(シヤム)国には50回以上にわたって貿易船を出した記録があります。沖縄で出土するタイ陶磁はその頃のものがほとんどです。

日本で出土するタイ陶磁は、タイ国内にとどまらず貿易品として海外に輸出された特定の産地や種類の製品で、これらは

貿易陶磁と呼ばれます。タイで貿易陶磁が生産されたのは、主にバンブーン窯(スパンブリー県)、シーサツチャナーライ窯・スコータイ窯(スコータイ県)、メナムノイ窯(シンブリー県)で、いずれもチャオプラヤ川やその支流の流域に位置しており、水運を利用して東南アジアの島嶼部まで流通し、一部は遠く日本まで運ばれたのです。

このうち大型の陶器の壺は、壺そのものが貿易品だったというより輸送用のコンテナとして使われたものです(図2)。

なお、タイ北部ランナー王国で生産された陶磁器は日本にはほとんどもたらされていませんが、ランブーン窯(ランブーン県)とされる象嵌文様で飾られた土器が博多や琉球からわずかに見つかっています。

日本にもたらされたタイの陶磁器には茶の湯の器茶陶として新たな価値が加わったものもありました。

シーサツチャナーライ窯やスコータイ窯で生産された陶磁器のうち、釉薬の下に鉄分を含む顔料で幾何学的な絵付けを施した一群は、日本では宋胡録(禄(すんころく))と呼ばれ、独特の



【図3】 オランダ東インド会社(VOC)の注文品 肥前・有田窯 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵
※展覧会出品作品

味わいが茶陶として高く評価されました。宋胡録の呼び名は、シーサツチャナーライの旧称であるサワンカローク(現在のサワンカローク郡とは異なります)に由来します。江戸時代後期に相撲の番付になぞらえて香合をランク付けした「型物香合一覧」では「宋胡録 柿」が西前頭六枚目にランクインしています。蓋に付けられたつまみを見立て日本の茶人が柿の帯に見立て「柿香合」と呼ぶようになった

ようですが、本来は柿ではなくマンゴスチンをかたどったもの（図1）。江戸時代にも宋胡録のデザインに倣った「宋胡録手」と呼ばれる作風が薩摩焼や京焼で作られるなど、宋胡録が醸し出す異国の雰囲気は根強い人気がありました。

また、アユタヤなどで作られた日用品の広口土器が日本では茶の湯の建水などに見立てられ、語源は不明ですが「ハンネラ」と呼ばれて伝えられています。

日本・肥前の陶磁器生産と海外輸出

江戸時代になると佐賀県有田を中心とする地域において、日本で初めて磁器が生産されるようになります。江戸時代の有田焼（当時は伊万里の港から全国に出荷されたため国内では伊万里焼のブランド名で流通しました）は、明から清への王朝交代に伴う混乱の中、中国の技術を導入して一気に中国磁器の品質に近づき、輸出が激減した中国

磁器の代わりに中国人やオランダ人によって東南アジアに輸出され、さらにはヨーロッパまで運ばれました。それまでは磁器の輸入国であった日本が輸出国へと大きな転換を遂げたのです。

オランダは17世紀にアジアからヨーロッパまで広域に商業活動を活性化しており、東インド会社という企業の形態をとってアジアからアフリカの各地に商館を置き、アジアではバタビア（ジャカルタ）を拠点として盛んに貿易をおこないました。オランダ東インド会社の商館は日本では長崎の出島のみですが、タイではアユタヤなど数カ所に置かれました。東インド会社は社名の頭文字「VOC」を社章に用いており、備品用として有田に発注した磁器の皿などにVOCマークを入れさせました（図3）。アユタヤのオランダ商館跡や王宮の遺跡からもVOCマークのある有田焼の皿や瓶が出土しています。

17世紀に海外輸出された日本陶磁は肥前（現在の佐賀県と壱



【図4】東南アジア向けに作られたクンディ 肥前・有田窯 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 ※展覧会出品作品

岐・対馬を除く長崎県）で生産されたものがほとんどです。肥前磁器の輸出は、1647年に中国商人がシヤム（タイ）經由

カンボジア向けの船で運んだのが最初の記録であり、その後、オランダ商人も東南アジア向けに肥前磁器を運ぶようになりました。

当時、日本から輸出された陶磁器の大部分は磁器でしたが、肥前の武雄地域を中心に生産された陶器の大皿なども東南アジ

アに輸出され、交易拠点であるアユタヤやマレー半島のナコーンシータマラートなどで見つかっています。

有田焼をはじめとする肥前磁器は、国内や海外のさまざまな市場に応じた種類の器を生産しました。東南アジア向けの種類としてはクンディ（ケンディ）と呼ばれる水を注ぐ器（図4）やキンマ（キンマの葉、檳榔樹の種子、石灰を噛む習俗）の容器などに使われた合子や小壺な



展示会情報

バンコク国立博物館企画展
 「日本とタイの陶磁器交流—貿易と文化交流の永遠の伝説」
 会期：令和4年9月14日(水)～12月14日(水)
 場所：バンコク国立博物館・シワモーク宮殿

バンコク国立博物館情報

HP：<http://www.virtualmuseum.finearts.go.th/bangkoknationalmuseums/index.php/en/>
 FB：@nationalmuseumbangkok



著者プロフィール



徳永 貞紹 (とくなが・さだつぐ)

佐賀県立九州陶磁文化館 副館長
 佐賀県出身。佐賀県教育庁などで文化財の調査・保護を担当した後、佐賀県立九州陶磁文化館に勤務。専門は考古学。



「日本とタイの陶磁器交流—貿易と文化交流の永遠の伝説」展

どが目立ちます。また、タイに輸出された磁器製食器の特徴としては大振りの碗(鉢)が多く、小さな皿がないことがあげられます。これはタイで食事に箸を使う習慣がなかったためと考え

られ、東南アジアの中でも各地の生活文化に応じた種類の陶磁器が輸出されていたことを示すものです。今回、紹介した陶磁器は、日本とタイの交流史のほんの一角

マではありますが、数百年前に大海原を越えて行き交った人々の確かな存在を私たちに語ってくれる証人と言えるのではないのでしょうか。この機会に、東南アジアではベトナムと並んで伝

統があるタイの陶磁文化に興味を持っていただければと思います。そして日本に帰国された際には、江戸時代にタイへ輸出された磁器のふるさと有田にぜひお越しください。

活動報告

同好会、サークル、その他
日本人会の活動を写真で紹介



【青少年サークル】演劇サークル

ワークショップ

自分の枠をはみ出してみないかい!?

日時：4月30日(土)、5月7日(土)

会場：日本人会別館

ワークショップに参加してくれた子どもたちは全員戸惑っていましたが、よく考えて表現していました。『下手な芝居』を役者はみな知っていますが、なかなかうまくいかない故、悩み続けているもどかしい思いを、矢野さんの体験談を通して今回のテーマを説明をしていただきました。一見遊んでいるようにみえて、実は大切なことを伝えている内容ばかりでした。



はじめて英検を受験されるお子様へ英検用マークシートの書き方のレクチャーと4級・5級の直前対策を行いました。

【企画推進部】

はじめての英検
マークシートの書き方から
4・5級直前対策まで

日時：5月19日(木) 16:00~17:00

会場：日本人会別館 参加者：19名

講師：枝 雄二氏(コミュニティ英会話)

【文化部】タイを知る会

桑野先生ツアー

日時：5月6日(金)

参加者：11名

講師：桑野淳一氏

(元タマサート大学客員教授)



元タマサート大学客員教授の桑野淳一氏による散策ツアーを開催し、普段なかなか体験できない未知のバンコクを発見できました。

【婦人部】※
**お顔のたるみしわを引き締め、
 最高笑顔で印象美人**

日時：5月24日(火)10:00~11:30
 参加者：45名 講師：小笠原真由美氏

長引くマスク生活のなか、「お顔のたるみしわを引き締め、最高笑顔で印象美人」というテーマで小笠原真由美先生のオンラインレッスンが行われました。普段の生活ではあまり意識することのない顔の筋肉を動かすことの大切さや、肩の上にきちんと頭を乗せるだけでガラリと表情が変わってくる(=全身の筋肉はつながっていることを自覚して姿勢を正す)ことなど、まだまだ知らない自分をたくさん発見したオンラインレッスンでした。



【教育部】
2022年第1回英語検定1次試験

日時：6月4日(土)、5日(日)
 会場：日本人会本館及びGlowfish
 受験人数：314名

【教育部】
2022年第1回英語検定2次試験

日時：7月3日(日)
 会場：日本人会本館及びGlowfish
 受験者：183名



感染対策を十分に
 行いながら、300
 名を超える方に英
 検を受験いただき
 ました。



【青少年サークル】剣道サークル
ミニ剣道大会

日時：6月12日(日)
 会場：Wells International School

Wells International Schoolにて、2年ぶりにミニ剣道大会を開催しました。長いコロナ禍中も、毎朝オンラインで素振稽古を頑張ってきた部員たち。ようやく対面でのお稽古ができるようにはなったものの、週1回という限られた時間しかありません。

【婦人部】

ウェルカム交流会

日時：6月21日(火) 10:00~12:00
会場：日本人会別館 参加者：28名



タイにいらしてから1年から2年未満の方にお申し込みいただき、今年是对面で開催しました。セコムの方の話やバムルロードインターナショナル病院の話等、とてもためになるものが多く、注意すべき点・病気になった時の対応などがよくわかりました。

【企画推進部】※

Welcome Thailandシリーズ④

タイの便利スマホアプリを使ってみよう!

日時：6月23日(木) 10:00~12:00 参加者：47名
講師：ワットカナッド・ウィラポン氏
(JTCA Co., Ltd. Managing Director)



タイの便利なインターネットサービスやアプリを紹介いただき、主要なアプリに関しては使い方についてもお伝えいただきました。また、各サービスご利用時に使えるタイ語表現のプチ講座も行いました。

【厚生部】みんなの相談室※

みんなのお茶会

自分を知ることから始めるライフキャリア

Aiさんと心理士による

キャリアデザインワークショップ

日時：6月28日(火)、29日(水)

参加者：計19名

会場：日本人会別館



キャリア支援の実績をもつAiさんと臨床心理士のYumikoさんのコラボワークショップを開催しました。多くの女性が参加し、ライフキャリアへの関心の高さがうかがえました。



サコーン操り人形劇団のノンさんのお宅を訪問しました。間近で人形劇を見させていただいたり、参加者のみで実際に操り人形を触って動かしてみたりと貴重な体験ができました。

【文化部】タイを知る会

サコーン操り人形劇団訪問

日時：7月1日(金)

参加者：19名

【企画推進部】※

Welcome Thailandシリーズ⑤

タイ語基礎クラス

(日常会話編・ビジネス編)

日時：6月30日(木)~7月26日(火)

参加者：45名(15名×3クラス)

講座委託：JTCA Co.,Ltd.



オンラインタイ語レッスンを運営するJTCA社に協力いただき、来タイ間もない方向けのタイ語基礎クラスを開講しました。毎日の生活で使えるタイ語を4回にわたって学びました。



※はオンライン開催

詳細は日本人会のWebサイトをご覧ください

ねっとりプチプチ 五穀のひとつ粟の食感を味わう

カオファーンピヤック

秋が深まると食べたくなるものは数知れませんが、そのうちのひとつが粟ぜんざいです。ぽってりした艶やかな餡にねっとりプチプチの粟。ほんのり赤みを帯びた黒い小豆餡と黄色い粟が塗りのお椀によそわれた様は美しく、味わう前から満たされた気分になる温かい甘味です。

その粟をタイではカオファーンピヤックというお菓子などにして古くから食してきたことを知ったのは、タイのテレビ番組でした。近所で探したのですがなかなか出会うことができず、番組で紹介されたノンタブリー県の市場内にあるタイ菓子店に車を走らせました。台の上にお

菓子に乗せて売る小ぢんまりした店ですが種類は豊富で、目移りしつつも目的のカオファーンピヤックを購入しました。

日本ではクチナシの実

で粟を黄色に色づけることが多いのですが、こちらの店



粟は直径約1.5ミリ。先祖は雑草のエノコログサ(ネコジヤラシ)だとされているそうです

ではパンダンの葉(バイ・トゥーイ)で色と香りをつけてきれいな緑色。タイらしさを感じます。粟はほどよい甘さに炊かれてねっとりプチプチ。お好みで塩味のココナツミルクをかけていただきます。番組の中で店主は「何度も水を替えてしっかり洗うことが大切」と話しており、それは雑穀臭を除くためだそうです。たしかに雑味のない味わいでした。粟は餅粟。粟にはうるち粟と餅粟があり、お菓子に使われるのはタイも日本も餅粟が多いようです。

今回記事を書くにあたって粟のことを調べていたら、『事典 和菓子の世界』(中山圭子 岩波書店)の中に江戸っ子に人気を博した粟餅屋の話を見つけました。江戸時代の類書(百科事典)『守貞謾稿』によると「歌声とともに餅を搗きあげ、できた餅をむんずと手でつかむなり、指の間から四つの団子にし、六〜七尺(約二メートル)離れた盆中に投げ入れたという」とあります。このパフォーマンスは評判をよび、歌舞伎にも取り入れられたそうです。

粟は稲より早く日本に伝来し、縄文時代にはすでに栽培されていた穀類。長きに渡り日本人の胃袋を満たし、江戸時代には庶民のお菓子として親しまれていたのでしょう。日本でもタイでも粟のお菓子が少なくなっているのは残念なことです。

連載 84

タイの

お菓子は

二度

おいしい



パンダンの葉で色づけしたカオファーンピヤック ข้าวฟ่างเปียก。ノンタブリー県バーンヤイ市場の人気店 チョーティマー・カノムワーン ไรตติมาชนมหวาน 製



『離乳食情報』 『幼稚園案内』 2022-2023版が 事務局窓口で 販売中です！



すくすく会わんぱくミーティングでは、タイで離乳食を進める方に向けて作成している『離乳食情報』冊子と、毎年ナーサリー・幼稚園の情報をまとめた『幼稚園案内』を作成・販売しています。さ

らに今年は表紙デザインを一新し、より見やすく便利になりました♪

お求めは日本人会窓口にて！

【価格】

- すくすく会員……60パーツ
- 日本人会会員……120パーツ
- 日本人会未入会…240パーツ

■『離乳食情報』



載された全37Pです。タイの野菜、フルーツっていつから食べていいの？ そんな疑問も解決！ 離乳食期だけでなく、来タイ間もない方にもおすすめです。

離乳食だけでなく、タイの野菜や果物・牛乳やヨーグルト、豆腐などの食レポやおすすめなども掲



ありがとうございました。引き続き、感染対策をしながら、楽しく参加できるイベントを開催していきたいと思ひます。



たくさん来てくださり、参加者さんから「すごくありがたいイベントです」とのお声ももらえてうれしい限りです。

すくすく会へ寄付をしてくださった方々、ありがとうございました。また不要品が溜まってきた頃に開催できたらいいですね。



■『幼稚園案内』

日本人が多く通う日系幼稚園・ナーサリーを中心に、スクムビット周辺の22園の基本情報を掲載しています。インター併設園も多いので、英語を学ばせたい方も必読です。地図も掲載されているので園選びに大活躍の一冊。



 **すくすく会**
ウェブサイト

<https://sukusukubkk.wixsite.com/sukusukukai>



<https://lin.ee/ub6kcc0>



https://www.instagram.com/sukusukukai_bkk/



出産準備教室
ウェブサイト

<https://syussanmeeting.wixsite.com/syussanbkk>



すくすく会 通信 Vol.29

タイ国日本人会すくすく会は、タイで子育てをされている皆さんを応援する団体です。妊娠中から出産後、子育て中まで、あらゆるときの「困った!」をサポートします。

出産準備教室

妊婦さん向け「プレママクラス」と妊婦さんとそのパートナー向けの「プレパパクラス」を定期開催しています。

わんぱくミーティング

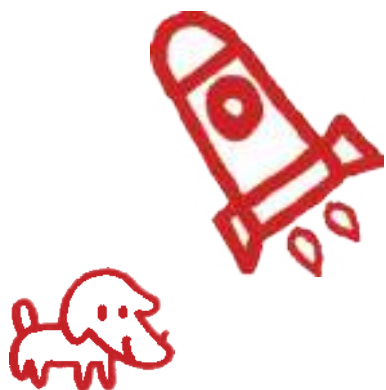
季節のイベントなど親子で楽しめる企画「わんぱく広場」を開催。「離乳食の会」ではタイで役立つ離乳食情報を紹介しています。また、『離乳食情報』『幼稚園案内』を発行し、別館窓口にて販売しています。

キッズルーム

日本人会別館の一室を児童館のように親子の遊び場として、毎週火曜と金曜に開放。また、オンラインでのイベントなども開催しています。

すくすくだより編集部

タイの子育て情報満載の会報誌『すくすくだより』を会員向けに定期的に発行し、郵送でお届けしています。



わんぱくミーティング

■わんぱく夏祭り

3年ぶりにわんぱく夏祭りを開催しました。今年は7月7日(木)と7月8日(金)の2日間に分けて、密を避けつつ多くの皆さんに楽しんでもらえるように企画しました。1日目は21名のお子様が、2日目は19名のお子様にご参加いただき賑やかな会になりました。

甚平などでおめかしした子どもたちはとても可愛く、たくさん笑顔が見ることができて私たちスタッフもとてもうれしかったです。

ボウリング・金魚・ふうせん・製作(とうめいうちわ)・お絵かき・自由コーナーなどで遊んでもらった後に、おうたや手遊び、スペシャルゲストのステージを一緒に楽しみました。

1日目はフラダンス同好会のハラウ フラ オ プアレファの皆さんによるパフォーマンス。2日目



は女声コーラスの皆さんによる『ハーモニー』 どちらも子どもたちやお母さんも一緒に楽しめる演目を準備してきてくださって、とても素敵なひとときとなりました。

キッズルーム

●すくすく 歯科検診



ゆたかデンタルクリニックさんのご協力の下、7月15(金)に歯科

検診を行い、24名のお子様方が参加してくださいました。みんな緊張しながらも、頑張ってお口をあけて、チェックしてもらうことができました。子どもの歯について普段気になっていることに対して、先生方が丁寧に答えてくださるありがたい機会でした。

●お下がり譲渡会



初の開催となったお下がり譲渡会! ギリギリの告知であったのにも関わらず、8月2日(火)の開催日に本当に多くの方にお越しいただきました。こんなイベントがあったらいいな〜で実現した今回の企画。出産を控える妊婦さんも



「ゴルフのルールを知りたい」 「競技ゴルフを楽しみたい」

日本人会ゴルフ部(JAGC)に参加しませんか?

毎月第3日曜日にラムルッカC.Cにて
2クラスに分かれての月例会を開催
月例会以外にも様々な競技イベントがあります

JAGC約100名の部員が
1年を通して競技ゴルフを楽しんでいます

タイ国日本人会 ゴルフ部 🔍 検索

お問い合わせは golfyoyaku@hotmail.com
または日本人会ゴルフ部ウェブサイトまで

月例会・競技会へのエントリー・競技結果は
JAGCウェブサイトをご覧ください

ウェブサイト
QRコードは
こちら→



編集人 富永 康行
 発行人 タイ国日本人会
 印刷製本 KOKUSHIN (THAILAND) CO., LTD.
 発行所 Japanese Association in Thailand
 1st Fl. Sathorn Thani Bldg.II
 92/2 North Sathorn Rd., Bangrak, Bangkok
 10500 Thailand
 Tel. 0-2236-1201
 Fax. 0-2236-1131
 E-mail : info@jat.or.th
www.jat.or.th
 編集協力 Plant Planet Co., Ltd.
 レイアウト OT Promotion Co., Ltd.

<非売品>
 落丁・乱丁の場合、事務局にてお取替えします。
 禁 無断転載

【編集後記】
 2020年の新年を家族で過ごして以来2年半ぶりに家族がタイに遊
 びに来た。子どもたちはジュースやお菓子を持ち込んでホテルやアパートのプ
 ールで毎日遊んでいた。観光に出かけるよりもプールの方が楽しみ。休憩
 中も少しでも早くプールに飛び込みたくてじっとしてられない。そんな
 にプールに入りたいたいものかと思っただけで、日本の学校はプールの授業
 が数回しかなく、外部のプールも人数制限していて、この2回の夏はほと
 んど入れなかったそうだ。うっすら日焼けした寝顔を見ながら、自分が子
 どもの頃の夏休みを思い出し、ちよつと切なくなった。タイにいる間は思
 いっきりプールで遊ぼうな。
 (ムネタイ)

在外選挙の制度と手続について



海外からの投票には、在外選挙人証が必要です。そのためには、日本において国外転出届を提出した後、在外選挙人名簿への登録申請を行い、登録先の市区町村選挙管理委員会が発行する在外選挙人証を事前に取得しておく必要があります。

登録・投票は簡単です

在外選挙登録資格

- 1 満18歳以上で
- 2 日本国籍を持っていて
- 3 海外に3か月以上お住まいの方（出国時登録申請を除く）

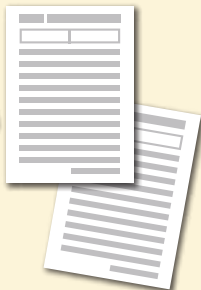
必要書類を準備し
申請書に記入、大使館、
総領事館窓口で登録申請

3か月後に大使館
などから住所確認の
連絡を受ける

選挙人証の受取

用意する物

- ・旅券
- ・申請書
- ・居住している事を証明できる書類
(在留届を提出済の方は不要です。)



大使館



電話又は葉書



選挙人証

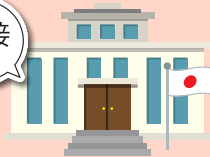


※申請書や選挙人証が海外・国内を往復するため受取までに数か月かかります ※選挙人証受取は郵送又は窓口での受取が選べます

在外投票は次の3つの方法から選択できます

在外公館投票

直接派



直接日本大使館・総領事館
(領事事務所)に出向いて
投票する方法。

郵便等投票

郵送派



投票用紙等を事前に請求して、
記載の上、登録先の選挙管理
委員会へ郵送する方法。

日本国内で投票

国内派



一時帰国した方や帰国直後で転入届を提出して3か月未満の方は、
日本国内でも投票できます。

同居家族による代理申請もできます。

申請者の上記書類と署名入り在外選挙人名簿登録申請書と申出書^{*}、代理の方の旅券を御用意ください。
^{*}申請書と申出書は領事窓口または総務省のホームページから入手できます。

- 外務省** 1.平成22年5月に憲法改正国民投票法が施行されました。在外選挙人証をお持ちの方は国民投票にも投票できます。
2.平成30年6月から出国時登録申請が始まりました。国外転出する際に市区町村の窓口で申請できます。

詳しくは、**在タイ日本国大使館**

TEL: +66-2207-8501

Mail: senkyo@bg.mofa.go.jp

または

外務省 在外選挙 まで。



赤ちゃんからシニアまで ご家族の健やかなタイ生活を応援

国際的認証を取得した世界的スタンダードに準拠した最先端の治療技術

バムルンラード病院は、1980年の設立以降、タイ国医療のバイオニアとして、ワールドクラスのヘルスケアサービスを提供してきました。190か国から医療ツーリズムのハブとして世界中の患者さんを受け入れた経験から、日本人の患者さんにも特化した専門医による治療をご提供しています。

安心の日本語サポート



タイ医師免許取得の日本人医師・日本語で直接相談可能な専門医

タイでも数少ない、タイ医師免許を取得した内科医吉武加恵先生が、外来及び健康診断センターで診察しています。ほかにも、東北大学医学部出身でロボット支援外科センター長のDr. Anusakや千葉大学医学部出身で泌尿器科専門医のDr. Apichatなど日本の医師免許を持つタイ人医師、また日タイハーフのアレルギー科Dr. Hiroshi、脳神経内科Dr. Ken、内分泌科Dr. Junなど、日本語で直接専門医と相談していただけます。お気軽にご相談ください。



経験豊富な日本語医療通訳及び医療コーディネーターによるサポート

医療通訳者が電話・メール対応、予約、受付、医師との診察におけるサポートなど、ワンストップサービスをご提供しております。また日本語通訳資格を持つ医療コーディネーターが、保険や医療に関するご相談を受けております。日本の聖路加国際病院での経験を活かし、専門チームと連携しながら婦人科医・産婦人科、不妊治療、小児科、がん治療など複雑なケースにも対応しながら、確立した健康をテーマにしたイベントや、出産前・出産後のご家族のための講習会なども企画しています。



2年連続、ニュースウィーク誌
「世界優良病院トップ150位以内ランクイン」

